

INFORMATION

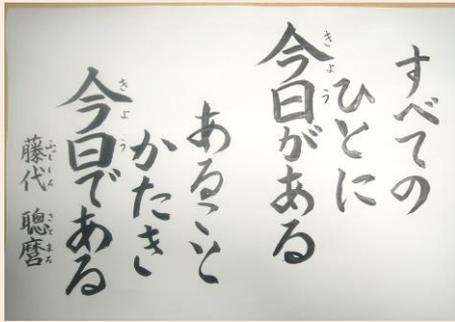
2020年 修正会

日 2020年1月1日
 時 10:30から
 場 所 徳泉寺本堂
 内 容 勤行・法話
 持ち物 念珠・勤行本

新しい年を迎えた日
 ご門徒のみなさまと
 ご一緒に
 新年最初のお勤めを行います。
 新たな一年に手を合わせ
 願いを受け取る元日に
 なりますように。
 ご家族そろって
 お越しください。

修正会(しゅししょうえ)のご案内

今月のことば



真宗の僧侶、藤代さんの言葉です。今のいのちも、生活も、関係性も、あること難(かた)きもの。不足や不満、または当たり前という思いで見えにくくなっていることに気づかされます。



山茶花

境内の花々

同朋会 新年会

日 2020年1月23日(木)
 時 受付 11:45
 開始 12:00
 場所 仙台ガーデンパレス
 会費 3500円
 出席の方は1月18日(土)までにご連絡をお願いします

『徳泉寺報』後記

今年は何んなひとに出会いましたか。新しく知り合ったひと、古い絆を深めたひと、思い返された今は亡きひと。一つ一つを重ねて、またこの一年を歩んできたことと思います。その重なりを慈しみ、新たな歳を迎えたいものです。

本年も大変お世話になり、ありがとうございます。良いお歳をお迎えくださいませ。

前任職法話一部抜粋「御俗姓(ごぞくしょう)より
 毎年、徳泉寺の報恩講では『御俗姓』を拝読いたします。これは親鸞聖人の一生と報恩講をお勤めする意義が書かれてある蓮如上人の御文です。この『御俗姓』はその内容から三つに分けられます。一つ目は親鸞聖人の出自について。聖人のお生まれや真宗の教えに出遇われた経緯が書かれています。そして二つ目、三つ目は報恩講を行う意義について。親鸞聖人の教えをいただいている者はその恩徳に報謝の心を表さずにはいられないでしょう。そしてまだ信心を得ていない者はこの機会に仏法の信、不信をよくたずね聴聞しましょう、と書いてあります。また形ばかりの念仏者が多いことを嘆き、この報恩講中に南無阿彌陀仏の教えをよく聞き開いて真の念仏者となることこそが本当の意味で報恩謝徳の仏事になるのである、とも書かれています。
 蓮如上人は、本尊について、「木像よりは絵像、絵像よりは名号」とおっしゃっています。これは、本尊は単なる姿形ではない、そこにはハタラクがあるということなのです。名号「南無阿彌陀仏」の「南無」は阿彌陀仏から私への呼びかけと私の応答です。「南無せよ」、「南無します」、「我が国に生まれんとおもえ」、「彼の国へ生まれたいと願います」。私が阿彌陀の浄土へ生まれたいと願う、浄土を願って生きる人生がスタートする。そういうことがお念仏、南無阿彌陀仏となつて顕されているのです。

同朋会コーナー

十二月同朋会より